

第14期

第2四半期報告書

(平成19年10月1日から平成19年12月31日まで)



平成20年2月8日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿3丁目3番4号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

I 当期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第2四半期 H18.10.1~ H18.12.31	第3四半期 H19.1.1~ H19.3.31	第4四半期 H19.4.1~ H19.6.30	第1四半期 H19.7.1~ H19.9.30	第2四半期 H19.10.1~ H19.12.31	累計 H19.7.1~ H19.12.31		累計 H18.7.1~ H18.12.31
I 営業収益	売上高	89,875	91,225	95,298	168,300	113,732	282,032	+29.0%	218,570
II 営業費用	売上原価	77,769	79,719	89,616	99,529	108,390	207,919	+33.8%	155,388
	(注1)販売費及び一般管理費	14,301	14,463	15,866	15,799	14,633	30,433	+11.6%	27,268
	営業利益または営業損失(▲)	▲2,195	▲2,957	▲10,184	52,971	▲9,291	43,679	+21.6%	35,914
III 営業外収益		28	64	33	14	55	69	▲18.8%	85
IV 営業外費用		506	455	446	441	437	879	▲14.2%	1,025
	経常利益または経常損失(▲)	▲2,674	▲3,348	▲10,597	52,544	▲9,674	42,870	+22.6%	34,973
V 特別利益		—	—	—	—	—	—	—	—
VI 特別損失		—	—	—	—	—	—	—	—
	税引前四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲2,674	▲3,348	▲10,597	52,544	▲9,674	42,870	+22.6%	34,973
	法人税、住民税	730	730	944	884	984	1,868	+27.9%	1,461
	四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲3,405	▲4,079	▲11,541	51,660	▲10,658	41,001	+22.3%	33,512
	期中平均株式数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	—	6,245 株
	1株当たり四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲545 円	▲653 円	▲1,848 円	8,272 円	▲1,707 円	6,566 円	+1,200 円	5,366 円
	(注1)潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益	—	—	—	7,303 円	▲1,506 円	5,797 円	+1,067 円	4,730 円

(注1) 最終損益が損失となる期間については記載を省略しております。

(2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	前年度	当年度	当年度	
		第2四半期末 H18.12.31	第3四半期末 H19.3.31	第4四半期末 H19.6.30	第1四半期末 H19.9.30	第2四半期末 H19.12.31	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	61,536	48,911	18,780	52,461	85,692
		その他	12,376	18,231	15,606	22,666	30,603
		流動資産合計	73,912	67,143	34,386	75,128	116,296
	II 固定資産	有形固定資産	269,876	267,414	274,491	281,909	283,576
		無形固定資産	2,346	2,431	2,296	2,161	2,026
		投資その他の資産	71,733	76,520	77,537	80,864	82,380
	固定資産合計	343,956	346,367	354,326	364,936	367,984	
	資産合計	417,869	413,511	388,713	440,064	484,280	
(負債の部)	I 流動負債	41,230	44,389	39,446	43,414	30,757	
	II 固定負債	86,921	83,484	75,171	70,894	138,425	
	負債合計	128,151	127,873	114,617	114,308	169,182	
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	331,000	331,000	331,000	331,000	331,000
		資本剰余金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		利益剰余金	▲110,698	▲114,778	▲126,319	▲74,659	▲85,318
		株主資本合計	289,217	285,137	273,596	325,256	314,597
	II 新株予約権	新株引受権	500	500	500	500	500
	純資産合計	289,717	285,637	274,096	325,756	315,097	
	負債・純資産合計	417,869	413,511	388,713	440,064	484,280	
	発行済株式総数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	
	1株当たり純資産	46,312 円	45,658 円	43,810 円	52,083 円	50,376 円	

(3) 株主資本等変動計算書 (平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本				新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	新株引受権	
		資本準備金	その他利益剰余金			
平成 19 年 6 月 30 日残高	331,000	68,916	▲126,319	273,596	500	274,096
第 1 四半期中の変動額 四半期純利益			+51,660	+51,660		
第 1 四半期中の変動額の合計			+51,660	+51,660		+51,660
平成 19 年 9 月 30 日残高	331,000	68,916	▲74,659	325,256	500	325,756
第 2 四半期中の変動額 四半期純利益			▲10,658	▲10,658		
第 2 四半期中の変動額の合計			▲10,658	▲10,658		▲10,658
平成 19 年 12 月 31 日残高	331,000	68,916	▲85,318	314,597	500	315,097

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書および株主資本等計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

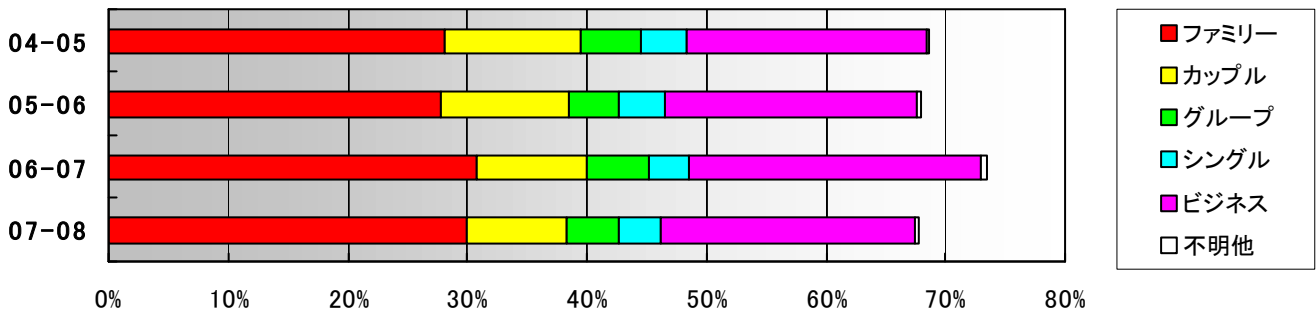
(5) 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物:17～18年、構築物:15～20年、車両運搬具:4～6年、工具器具備品:3～8年
(会計方針の変更) 当事業年度より、法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降取得の有形固定資産については、改正後の法人税法に規定する方法により、減価償却費を計上しております。これによる損益に与える影響は軽微です。
 - (2) 無形固定資産 定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しています。
均等償却によっています。
 - (3) 長期前払費用 定額法を採用しています。
2. リース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によります。
3. 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

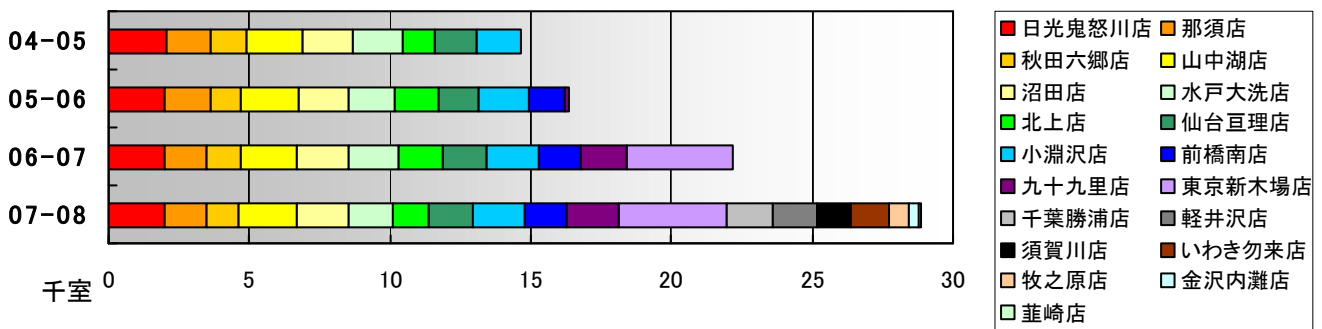
Ⅱ 第14期上半期（平成19年7月1日～12月31日）の業績の概況

客室稼働率(全店通算、構成内訳)の推移 (平成19年7月1日～12月31日)



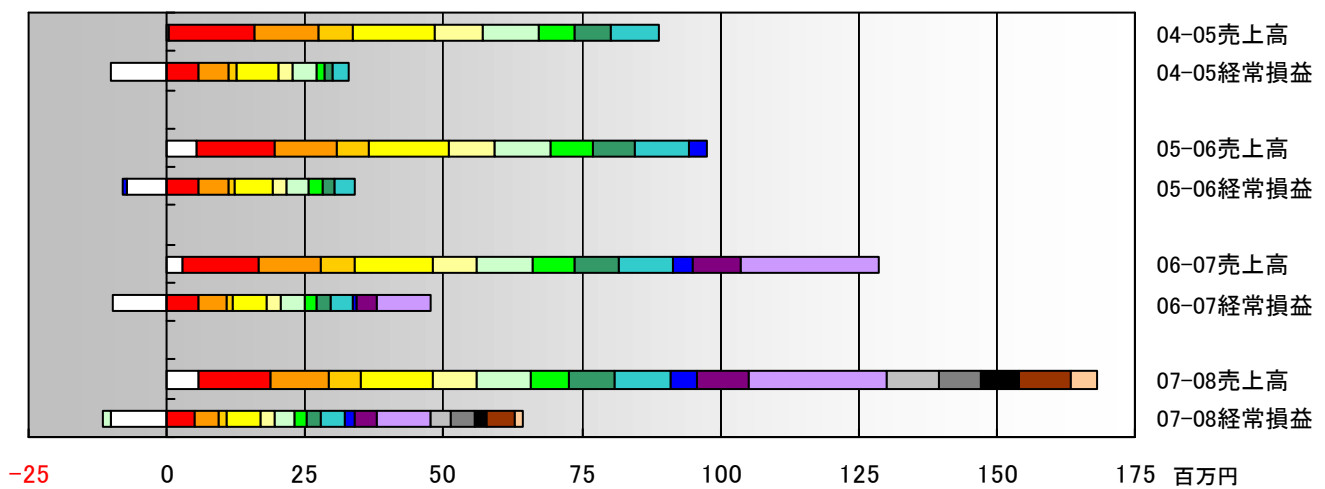
- ・オープン1年未満の7店舗の影響が大きく、前年同期に比べ5.7ポイント減少しています（73.5→67.8%）。
- ・前年同期に比べ、ファミリー客の割合が増加し、グループやビジネスが減少傾向です。

利用客室数(全店合計、店舗別内訳)の推移 (平成19年7月1日～12月31日)



- ・既存店は水戸大洗店と北上店の減少が目立つものの、全体としてはほぼ前年同期並みでした。

売上高・経常損益(全社合計、部門別内訳)の推移 (平成19年7月1日～12月31日)



- ・売上高は、新規店舗が増えたため、前年同期に比べ大幅に増加しました（+29.0%）。
- ・経常利益は、既存店全体では前年同期に比べ微減（57,115→55,661千円、▲2.5%）でしたが、千葉勝浦店・軽井沢店・いわき勿来店などの新規店舗が黒字だったため、前年同期に比べ増加（+22.6%）しました。ただし、牧之原店や金沢内灘店の伸び悩みや開業準備中の費用もあり、第2四半期に限れば赤字が大幅に拡大（▲2,674→▲9,674千円）しました。

部門別内訳

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第2四半期 H18.10.1~ H18.12.31	第3四半期 H19.1.1~ H19.3.31	第4四半期 H19.4.1~ H19.6.30	第1四半期 H19.7.1~ H19.9.30	第2四半期 H19.10.1~ H19.12.31	累計 H19.7.1~ H19.12.31		累計 H18.7.1~ H18.12.31
本社	売上高	2,634	5,565	3,356	5,708	3,052	8,761	+56.0%	5,615
	経常損益	▲11,933	▲9,022	▲12,802	▲10,306	▲11,581	▲22,228	—	▲21,863
日光鬼怒川店	売上高	8,392	7,067	7,458	13,121	8,481	21,603	▲2.3%	22,122
	客室稼働率	708	79	363	5,040	735	5,775	▲7.9%	6,271
		52.2%	42.5%	47.4%	59.8%	56.1%	57.9%	+1.4p	56.5%
那須店	売上高	5,437	5,237	5,948	10,273	5,504	15,777	▲5.2%	16,647
	客室稼働率	100	▲69	▲357	4,413	370	4,783	▲9.2%	5,268
		55.3%	47.1%	60.3%	73.1%	55.8%	64.4%	▲3.1p	67.5%
秋田六郷店	売上高	3,307	2,361	3,495	5,857	3,828	9,686	+2.3%	9,467
	客室稼働率	▲1,399	▲1,112	▲686	1,419	▲793	625	—	▲97
		45.8%	34.4%	42.6%	56.1%	52.9%	54.5%	+0.3p	54.2%
山中湖店	売上高	8,494	8,478	7,561	13,193	7,895	21,088	▲5.7%	22,369
	客室稼働率	1,830	847	1,404	6,204	1,489	7,694	▲2.9%	7,922
		70.8%	68.3%	67.1%	85.6%	72.7%	79.1%	+0.5p	78.6%
沼田店	売上高	6,890	7,785	6,052	7,961	6,974	14,936	▲0.1%	14,953
	客室稼働率	1,139	1,911	304	2,362	1,153	3,515	▲2.9%	3,621
		84.5%	93.7%	78.4%	81.1%	83.0%	82.0%	▲1.6p	83.6%
水戸大洗店	売上高	6,742	6,036	5,889	9,486	5,593	15,079	▲11.3%	16,994
	客室稼働率	1,135	558	519	3,723	▲165	3,557	▲35.6%	5,526
		80.1%	68.2%	70.2%	74.9%	67.4%	71.2%	▲10.0p	81.2%
北上店	売上高	4,987	4,248	4,184	6,974	4,237	11,212	▲8.8%	12,296
	客室稼働率	▲645	▲396	▲1,452	2,058	▲772	1,285	▲10.7%	1,439
		67.2%	53.9%	50.4%	64.7%	55.5%	60.1%	▲9.6p	69.7%
仙台亘理店	売上高	5,481	5,354	5,600	8,370	5,370	13,740	+2.2%	13,440
	客室稼働率	▲422	▲142	36	2,685	▲507	2,178	+11.2%	1,959
		69.1%	71.9%	69.8%	74.0%	68.2%	71.1%	▲0.3p	71.4%
小淵沢店	売上高	6,586	6,813	6,584	10,262	6,351	16,614	+0.3%	16,558
	客室稼働率	740	921	1,045	4,366	113	4,480	▲8.3%	4,885
		83.1%	88.1%	84.5%	89.3%	77.6%	83.5%	▲1.1p	84.6%
前橋南店	売上高(運営受託料)	3,601	3,278	3,345	4,688	2,986	7,674	+5.2%	7,296
	客室稼働率	308	▲75	112	1,815	▲320	1,495	+33.0%	1,124
		72.4%	71.6%	71.9%	72.0%	63.3%	67.7%	+2.1p	65.6%
九十九里店	売上高	5,653	6,081	5,782	9,209	6,096	15,306	+6.5%	14,374
	客室稼働率	474	884	714	3,819	548	4,368	+8.1%	4,040
		77.6%	83.1%	76.7%	82.3%	81.7%	82.0%	+6.4p	75.6%
東京新木場店	売上高	21,667	21,566	19,671	25,213	22,757	47,971	+3.3%	46,432
	客室稼働率	5,549	5,761	3,579	9,809	6,091	15,900	+4.9%	15,156
		88.3%	88.6%	83.6%	89.6%	92.3%	90.9%	+2.2p	88.7%
千葉勝浦店	売上高	—	1,351	5,832	9,229	6,182	15,411	—	—
	客室稼働率	▲93	▲1,739	1,332	3,606	769	4,375	—	▲93
		—	73.5%	69.6%	72.8%	77.6%	75.2%	—	—
軽井沢店	売上高(運営受託料)	—	—	1,948	7,759	2,667	10,426	—	—
	客室稼働率	▲83	▲872	▲3,354	4,335	▲1,371	2,963	—	▲102
		—	—	52.7%	76.8%	51.0%	63.9%	—	—
須賀川店	売上高	—	—	2,585	6,699	4,455	11,154	—	—
	客室稼働率	▲84	▲880	▲637	2,090	▲422	1,668	—	▲84
		—	—	36.3%	54.1%	54.4%	54.3%	—	—
いわき勿来店	売上高	—	—	—	9,366	5,063	14,429	—	—
	客室稼働率	—	—	▲379	5,233	▲473	4,759	—	—
		—	—	—	67.9%	50.0%	58.3%	—	—
牧之原店	売上高	—	—	—	4,863	2,752	7,615	—	—
	客室稼働率	—	—	▲339	1,340	▲2,076	▲735	—	—
		—	—	—	46.6%	26.8%	35.2%	—	—
金沢内灘店	売上高	—	—	—	61	2,733	2,795	—	—
	客室稼働率	—	—	—	▲1,342	▲952	▲2,294	—	—
		—	—	—	31.9%	31.9%	18.9%	—	—
韭崎店	売上高	—	—	—	—	745	745	—	—
	客室稼働率	—	—	—	—	▲911	▲952	—	—
		—	—	—	—	47.9%	47.9%	—	—
土岐店	経常損益	—	—	—	▲90	▲173	▲263	—	—
伊賀店	経常損益	—	—	—	—	▲23	▲23	—	—
壇之浦PA店	経常損益	—	—	—	—	▲60	▲60	—	—
全社合計	売上高	89,875	91,225	95,298	168,300	113,732	282,032	+29.0%	218,570
	客室稼働率	▲2,674	▲3,348	▲10,597	52,544	▲9,674	42,870	+22.6%	34,973
		70.9%	68.0%	65.1%	72.8%	63.2%	67.8%	▲5.7p	73.5%

Ⅲ 第14期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第13期 通期実績 H18.7.1～ H19.6.30	第14期				
		第1四半期 実績 H19.7.1～9.30	第2四半期 実績 H19.10.1～12.31	第3四半期 予想 H20.1.1～3.31	第4四半期 予想 H20.4.1～6.30	通期予想 H19.7.1～ H20.6.30
売上高	405,094	168,300	113,732	120,000	132,968	535,000
経常損益	21,027	52,544	▲9,674	▲10,000	▲12,870	20,000
当期純損益	17,890	51,660	▲10,658	▲11,002	▲15,000	15,000

売上高については、年度内に「土岐店」「伊賀店」「壇之浦 PA 店」「松阪東店」のオープンを予定しているため、5億円を超える見通しです。ただし、利益については、新規オープンの店舗が増え、出店関連費用の増加が見込まれるため、前年度を下回ることを予想しています。新規店舗を早期に軌道に乗せて利益を計上し、前年度を上回れるよう努めたいと考えています。

Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31	第13期 第3四半期 H19.1.1～3.31	第13期 第4四半期 H19.4.1～6.30	第14期 第1四半期 H19.7.1～9.30	第14期 第2四半期 H19.10.1～12.31
現金および預金の増減額	▲13,854	▲12,625	▲30,131	+33,681	+33,231
現金および預金の四半期首残高	75,390	61,536	48,911	18,780	52,461
現金および預金の四半期末残高	61,536	48,911	18,780	52,461	85,692

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31	第13期 第3四半期 H19.1.1～3.31	第13期 第4四半期 H19.4.1～6.30	第14期 第1四半期 H19.7.1～9.30	第14期 第2四半期 H19.10.1～12.31
短期借入金の増減額	—	—	—	—	—
短期借入金の四半期首残高	—	—	—	—	—
短期借入金の四半期末残高	—	—	—	—	—

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別 第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31	第13期 第3四半期 H19.1.1～3.31	第13期 第4四半期 H19.4.1～6.30	第14期 第1四半期 H19.7.1～9.30	第14期 第2四半期 H19.10.1～12.31
長期借入金の増減額	▲10,964	▲7,134	▲6,991	▲6,717	+44,863
長期借入金の四半期首残高	125,368	114,404	107,270	100,279	93,562
長期借入金の四半期末残高	114,404	107,270	100,279	93,562	138,425

借入金の増加は、三井住友銀行からの新規借入れ(50,000千円、12月実行)と約定返済の差額によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第14期第2四半期末(平成19年12月31日)時点(千円未満は切り捨てて表示)

47,303千円	… 借上直営店における差入れ保証金(契約満了時返済)
27,500千円	… 「軽井沢店」における建設協力金(10年均等償却)
3,866千円	… 借地直営店における借地権利金(20年均等償却)
2,500千円	… 長期性預金
1,210千円	… 取引信用金庫などへの出資金
合計 82,380千円	

V 今後の事業展開と出店計画について

「金沢内灘店」「葦崎店」がオープン

それぞれ、予定通り10月1日、12月20日にオープンしました。

「伊賀店」「壇之浦PA店」「松阪東店」の出店が決定

すでにお知らせしたとおり、「土岐店」（3月14日オープン予定）に続き、「伊賀店」（4月15日オープン予定）「壇之浦PA店」（4月23日オープン予定）「松阪東店」（6月オープン予定）の出店が決定しました。これによって、関西方面へ出店エリアが拡大することになります。



「葦崎店」外観

高速道路SA・PAへの出店

「壇之浦PA店」は関門自動車道「壇之浦パーキングエリア」隣接地への出店であり、一般道路側だけでなく高速道路から直接利用できる画期的な宿泊施設となります。7年以上前から当時の日本道路公団に対し、マイカー旅行者が誰でも気軽に利用できる宿泊施設こそSA・PAに設置すべきであると提案し続けてきましたが、ようやくその第1号が実現することになりました。これによって、単なる立ち寄り休憩施設であったSA・PAに安心して長距離ドライブを楽しめる機能が加わり、利便性が大きく向上することになります。あわせて、通過するだけの高速道路が滞在可能な拠点を持つことになり、地域の観光振興や活性化などにも貢献することになります。

その他の出店計画

引き続き、高速道路SA・PAへの出店計画を進めるとともに、着実に店舗網を拡大していく計画です。

全店舗にセキュリティシステムを導入

予定通り11月から12月にかけて、全店舗にセコム遠隔監視システムを導入しました。これによって、店舗の増加にともなう事故の抑制や不測の事態への迅速な対応が可能になりました。

バリアフリー化工事

昨年オープンの店舗から、車椅子使用の方に配慮した客室を1室設けていますが、必ずしも十分な対応がとれていません。そこでバリアフリー化のノウハウを学ぶためにも、昨年秋より「東京新木場店」を対象に「東京都バリアフリー化助成金対象事業」の申請を行い、認定通知をいただきました。今春には改築工事を行い、その後、施設面だけでなく運営面でも順次全店を誰にでも使いやすい宿泊施設になるよう改善していく計画です。

禁煙ルームの試験設置

要望の多かった禁煙室を3月より数店舗で試験的に設置します。その結果を検討し、全店に設置する計画です。

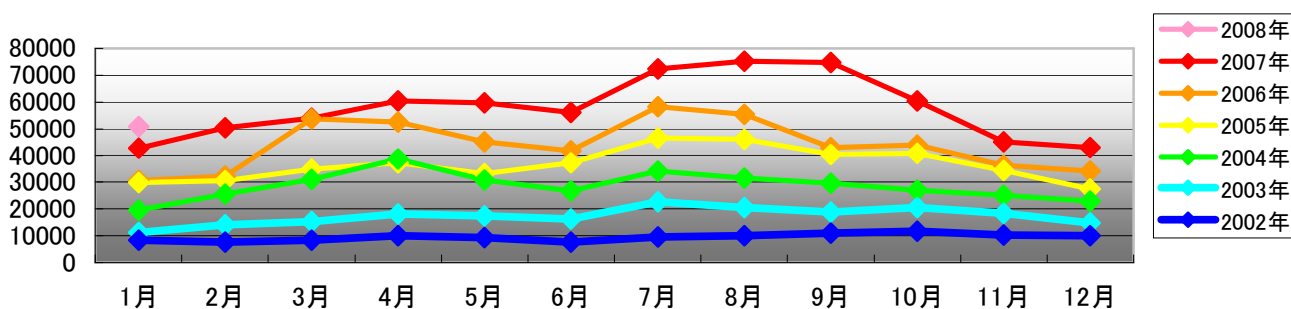
社内管理体制の拡充

前記のセキュリティシステムの導入にあわせて全店をまわり、施設状況のチェックや運営方法の統一について説明を行いました。引き続き、社内システムの整備を図るとともに、本社スタッフの増員を計画しています。

広告宣伝、パブリシティ

「壇之浦PA店」のオープン前後に、重点的にパブリシティ活動を展開する予定です。

トップページ アクセス数の推移



以上

会社名	株式会社旅籠屋	上場取引所等	GR
コード番号	4807	本社所在都道府県	東京都
代表者	代表取締役社長 甲斐 真		
問い合わせ先	責任者役職名 代表取締役社長 甲斐 真	TEL (03) 3847-8858	

1. 平成 20 年 6 月期 第 2 四半期の業績（平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。
 3. 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年第 2 四半期	282	(29.0)	43	(21.6)	42	(22.6)
19 年第 2 四半期	218	(37.4)	35	(107.2)	34	(123.6)

	当期純利益		1 株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 経常利益率	
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%	%		
20 年第 2 四半期	41	(22.3)	6,565	52	5,796	93	13.9	9.8	15.2			
19 年第 2 四半期	33	(138.2)	5,366	24	4,730	01	12.3	8.5	16.0			

- (注) 1. 期中平均株式数 19 年 12 月期 6,245 株 18 年 12 月期 6,245 株
 2. 会計処理の方法の変更 無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
20 年第 2 四半期	484		315		65.0	50,375	98	
19 年第 2 四半期	420		289		69.2	46,311	86	

- (注) 1. 期末発行済株式数 19 年 12 月期 6,245 株 18 年 12 月期 6,245 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年第 2 四半期	57		△28		38		85	
19 年第 2 四半期	45		△15		△22		61	

2. 平成 20 年 6 月期の業績予想（平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金(円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期末	年間
通 期	535	20	15	—	—	—	0	0

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 2,401 円 92 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上